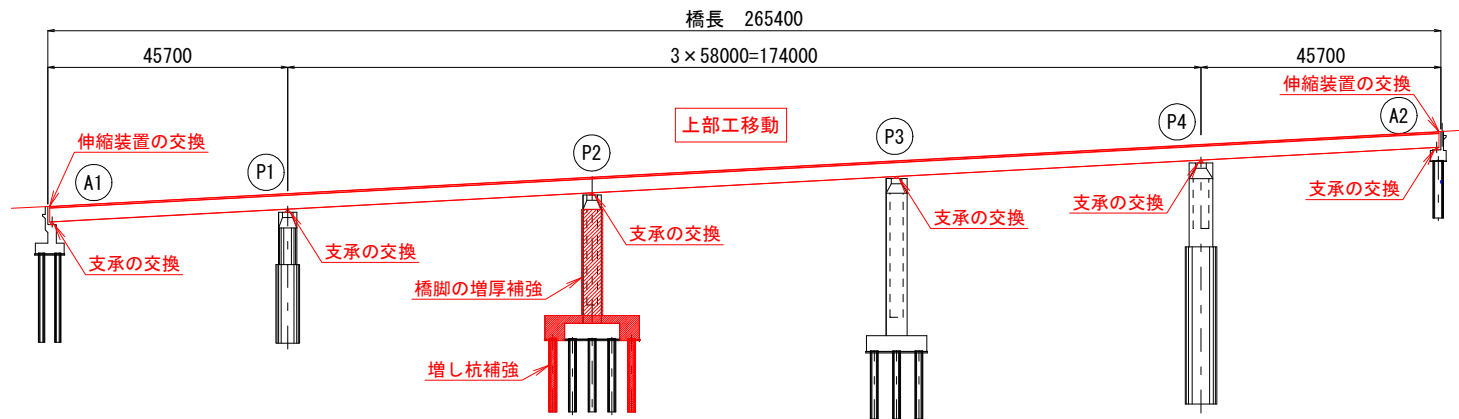


- 上部工の横移動、支承・伸縮装置破損、下部工のひび割れ等の損傷が生じています。
- 対策は、上部工移動、橋脚の増厚補強、増し杭補強、支承および伸縮装置の交換等を行います。

(鋼5径間連続非合成鈹桁橋 H13年架設、橋長:265.4m)

①道路部の段差



上部工が大きく横移動(約110cm)しているため、一度持上げて、元の位置に戻します。

また、一部の橋脚も大きく損傷(最大4mmのひびわれ)しているため、基礎杭及び柱部の補強を行います。

②上部工の移動、伸縮装置の破損



③支承の破損



④橋脚のひびわれ





基礎杭の工事に着手

